

KOSHIN 蓄圧式噴霧器
MANUAL SPRAYER
 家庭園芸用 薬剤専用 HS-Wシリーズ取扱説明書

安全上のご注意
 ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

- ⚠ 危険：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ 注意：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

ご使用になる前に製品寿命お知らせラベルの上紙を必ずはがしてください

《上紙のはがし方》
 白い上紙だけをはがすと濃色ラベルが見えます。

《ラベルの見方》
 1側の濃色ラベルの色があせ、2側の水色と同じ色になったら製品寿命です。

1と2の色の差が大きい → 1と2が同じ色になったら製品寿命です

紫外線劣化するとだんだんと1の色があせて薄い色になっていきます

※本体裏側に貼付しています

危険
 次の項目は、製品寿命の目安となります。製品に①②のどちらかの現象が見られる場合はただちに使用を中止してください。守らないと製品が破損しケガをするおそれがあります。

① 製品寿命お知らせラベルの1と2が同じ色になったとき

② 紫外線劣化によりタンクにクモの巣状の細かい亀裂が生じたとき

警告
 改造は絶対に行わないで下さい。故障や異常作動をし、ケガの原因となります。

噴霧器指定の薬剤以外や、強酸性強アルカリ性の液体、可燃性の液体(ガソリン・灯油等)溶剤等は絶対に使用しないで下さい。タンクが破裂や爆発する恐れがあります。

薬剤使用上のご注意

注意
 薬剤散布後はタンク内を洗浄後、清水を噴霧し、ノズルやホース内の薬剤も洗い流してから圧力を抜いて下さい。薬剤が残ると噴口やストレーナーが詰まり劣化による故障の原因となります。

散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、長そで・長ズボンなど露出の少ない衣服およびマスク・めがね・手袋などを着用して下さい。

散布後はすみやかに圧力を抜いて下さい。加圧したまま長時間放置しますとタンクの早期劣化の原因となります。

有機溶剤が多く含まれるトレファンノサイド・ゴーゴサン・スタム・DDVP等は使用できません。製品を变形させ、故障やタンク破損の原因となります。

園芸用のマシン油剤はお使いいただけます。工業油(ガソリン・灯油・潤滑油など)には使用できません。故障や破損の原因となります。石灰硫黄合剤は、ぬるま湯で溶かすと詰まりにくくなります。

薬剤の付属の説明書に従って下さい。

薬剤は適切な濃度でご使用下さい。濃度の高い薬剤は植物を傷め噴霧器故障の原因となります。※粉状・粒状の薬剤はそのまま使用できません。

故障かな?と思ったら

◎点検等で分解する場合は、必ずタンク内の圧力を先に抜いて下さい。
 ◎蓄圧式噴霧器は構造が簡単ですので、ほとんどの場合、お客様での修理が可能です。下記の「症状→原因→対策→処置」の手順でご確認下さい。処置後、症状が改善されない場合は、修理をご依頼下さい。※パッキン類は消耗品です。
 ◎修理をご依頼される際は、交換部品以外に、工賃・送料などが必要となりますのでご了承下さい。

症状	原因	対策	処置	
・噴霧しない	タンク内の圧力は上がる (安全弁レバーを引き上げると「シュー」と音がする。)	噴口のつまり	洗浄する	処置A
・霧の出が悪い	タンク内の圧力が上がらない	ストレーナーのつまり	洗浄する	処置B
		圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する	
		吐出ホースの折れ	折れを直す	
		ポンプの締め付け不足	ポンプを締め付ける	
		ポンプ部リングの油切れ・膨潤・劣化	注油又は交換する	処置C
		安全弁リングの油切れ・膨潤・劣化	注油又は交換する	処置D
		吐出弁の膨潤・劣化・紛失	交換する	処置E
		圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する	
・薬液がポンプ部から吹き出す		吐出弁の膨潤・劣化	交換する	処置E
・各接続部より水もれ		ゆるみ・締め付け不足	締め付ける	
・ノズル本体より液もれ		ノズル内部の経年変化		処置F
		リングの膨潤・劣化	リング交換	処置G
・ノズルのレバーが重い		油切れ	注油する	処置G

お買い上げ時、この部分にすき間(約1mm)がありますが問題ありません。液もれしない限り締めないでください。(関連:処置F)

すき間(約1mm)

リングには定期的に少量のグリスを注油して下さい。油が切れると動作不良や水もれの原因となります。※注油は純正品のグリス(シリコングリス PA-186)をご使用下さい。リング類、シリンダパッキン、吐出弁は純正品のHS-Wパッキンフルセット(PA-181)をご使用下さい。

処置D 安全弁リングの注油 交換
 取り付ける はずす
 ・安全弁をはずし、シリンダを抜いてリングに注油または交換して下さい。

処置E 吐出弁の交換
 吐出弁 引っ張る
 ・ポンプ先端の吐出弁を手ではずして下さい。取り付ける際は隙間が無くなるまで手でしっかりと押さえして下さい。

注意
 安全弁を取り外す際は、必ずキャップを回して下さい。レバー(T型)を回転させると故障の原因となります。

各部の名称

※機種によって付属部品が異なります。下表を参考に付属部品をご確認下さい。

機種名	本体		ノズル	
	タンク本体・ホース・グリップ	伸縮2段2頭口ノズル(1頭口切替)	伸縮4段2頭口ノズル(1頭口切替)	伸縮4段2頭口ノズル(1頭口切替)
HS-503W	○	○	○	○
HS-707W	○	○	○	○

梱包内容
 ノズルレバー、ノズルグリップ、切替キャップ、ホースキャップ、ベルト取付部、タンク、ハンドル(ポンプ)、安全弁レバー、安全弁(圧力表示付)、ノズルスタンド、噴口、1頭口切替コック、伸縮ノズル、長さ調節キャップ

仕様・性能

機種名	規定容量	ノズル形式・全長/収縮長	ホース長さ	安全弁作動圧力	噴霧時間(※)		噴霧面積	用途
					1頭口	2頭口		
HS-503W	5L	伸縮2段2頭口(113.5/63cm)	5m	0.4MPa(4kgf/cm ²)	約21分	約10分	約17~22坪	殺虫剤 防除用
HS-707W	7L	伸縮4段2頭口(201.0/63cm)			約31分	約15分	約24~30坪	

※噴霧時間は薬剤の種類によって異なります。

お問い合わせ相談窓口

■製品・パーツの販売についてのお問い合わせは
 購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

メール pump@koshin-ltd.co.jp
 キョウトのコーシン
 電話 0120-075-540 平日: 9:00~17:00
 会社休業日・土日祝祭日を除く。
 受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

株式会社 工進
 〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
 http://www.koshin-ltd.co.jp

・製品寿命お知らせラベルは、タンクを含め消耗品の寿命を保証するものではありません。
 ・改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

処置A 噴口の洗浄
 しまる ゆるめる
 ・つまようじ等で穴のつまりを取り除いて下さい。

処置B ストレーナーの洗浄
 取り付ける はずす
 ・ホースキャップをはずしストレーナーの網目部分のつまりを取り除いて下さい。

処置F ノズル内部の経年変化
 すき間(約1mm) 軽く締める
 すき間から液もれする場合、もれない程度に軽く締めてください。締めすぎると割れるおそれがあります。

処置G ノズル部リングの注油・交換
 グリスを塗る 範囲
 ノズル本体キャップ、リング(P11)、リング(P5)、グリス、リング(S3)、グリスノズル弁
 ノズル部には定期的に少量のグリスを注油してください。

処置C ポンプ部リングの注油・交換
 1.切替キャップを「速い」の位置に合わせてハンドルを上げ、ネジをゆるめてシリンダキャップをはずして下さい。

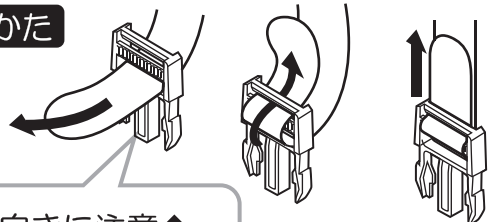
2.ピストンのネジをゆるめリングに注油または交換して下さい。

切替キャップ、ネジ、六角ナット M3、シリンダパッキン P48A、シリンダキャップ、ネジ M3×10、グリス、リング P36、グリス、リング P24

注意
 イラストに記載のあるネジ以外は外さないで下さい。故障の原因となります。

① 本体にベルトを取り付けます。

ベルトの通しかた

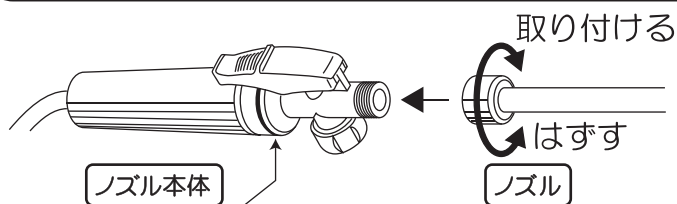


◆バックルの向きに注意◆
ベルト取付の際、バックルの向きにご注意下さい。反対向きに通すとベルトは固定できません。

•ベルト取付部に差し込みます。折り返したベルトの端が外側に向くように取り付けて下さい。

ベルト取付部

② ノズルを組み立てます。

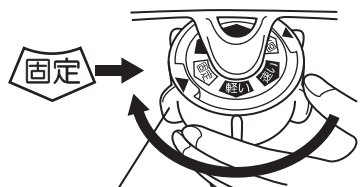


※すき間(約1mm)を開けています(関連:本取説の裏面 処置F)

注意 接続部にはパッキンが付いています。必ずパッキンがあることを確認して下さい。また、液漏れがないようしっかりと締め付けて下さい。

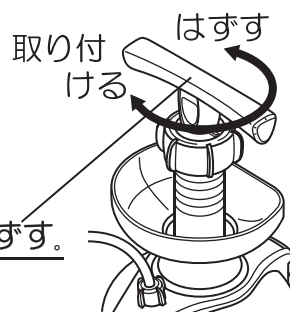
③ ポンプをはずします。

1.切替キャップをまわし、▲印を固定の位置に合わせて下さい



切替キャップをまわす。

2.ハンドルをまわしてポンプをはずして下さい。

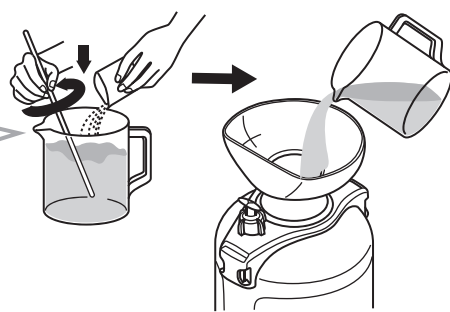


ハンドルを回してはずす。(反時計回り)

④ タンクに薬剤を入れる。

•別の容器で薬剤を充分溶かしてからタンクに入れて下さい。

◆よく溶かす◆
特に粉の薬剤は粉が無くなるまで充分溶かして下さい。

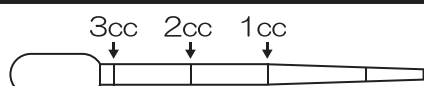


※容器は付属しておりません。

注意 前回使用した薬剤が残っていないか確認して下さい。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

注意 薬剤は規定量以上入れないで下さい。それ以上入れると噴霧時間が短くなります。(規定容量 5Lタンク:5の目盛り 7Lタンク:7の目盛り)

水(L)	薬 剤(cc)		
	500倍にうすめるとき	1,000倍にうすめるとき	2,000倍にうすめるとき
1L	2cc	1cc	0.5cc
4L	8cc	4cc	2cc
5L	10cc	5cc	2.5cc
7L	14cc	7cc	3.5cc



•スポイトの目盛りの単位はccです。(cc = g = mL)

⑤ ポンプを取り付け、加圧します。

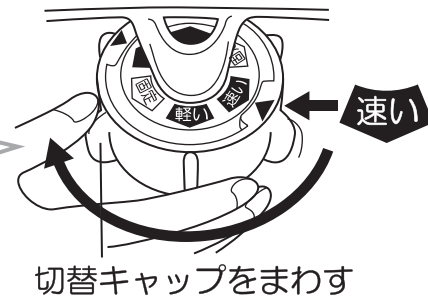
警告 ノズルスタンドにノズルを立てたまま加圧しないで下さい。けがの原因となります。

注意 ノズルレバーが噴霧状態になっていないかを確認してから加圧して下さい。(誤噴霧防止のため)

1.ポンプをタンクに取り付けて下さい。

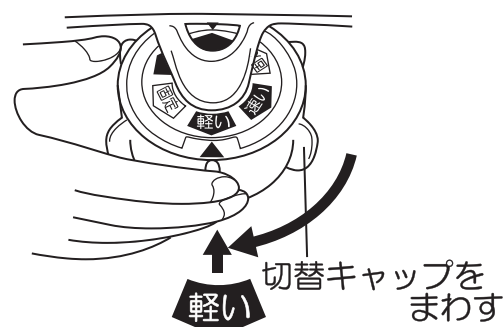
2.切替キャップをまわし ▲印を速いの位置に合わせハンドルを上下させるとタンク内が加圧されます。

◆切替時の注意◆
キャップの切替はハンドルを最も下げた状態で行って下さい。

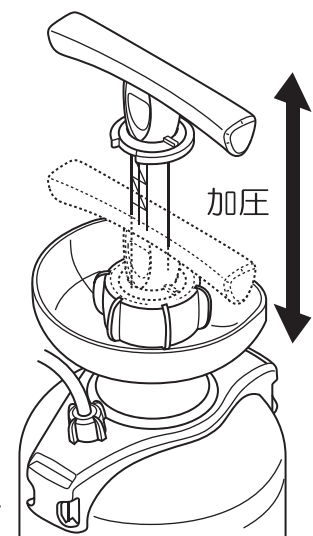


切替キャップをまわす

3.加圧が重くなれば切替キャップをまわし、▲印を軽いの位置に合わせて下さい。軽い力で加圧できます。



切替キャップをまわす



加圧

◆加圧の目安◆

安全弁に付いている目盛りがタンク内の圧力を示しています。タンクに薬液を規定容量入れた時は、目盛りが「4」(=0.4MPa)を示すまで加圧して下さい。タンクに入れる薬液が少ない場合は「4」(=0.4MPa)まで加圧する必要はありません。液量に応じて加圧して下さい。(目盛りが「1」(=0.1MPa)以上であれば適正な噴霧が行えます。)

安全弁の目盛りは目安です。正確な圧力計ではありません。作動しない時は、一度軽く手で引っ張って下さい。



4.噴霧適正圧力になり安全弁から「シュー」という音が聞こえたら加圧をやめて下さい。

◆安全弁◆

加圧しすぎによる噴霧器の故障を防止するため安全弁が付いており適正圧力になると自動的に圧力が逃げます。

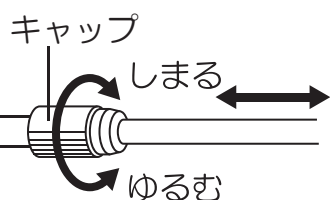
5.加圧後、ハンドルはロックして下さい。

⑥ 散布する。

1.ノズルの長さを調整します。

ノズル長さの調整方法

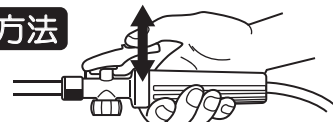
•調節後はキャップをしっかり締め付けて下さい。



2.散布をします。

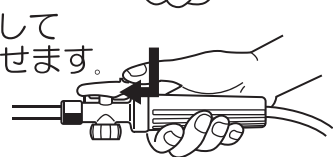
レバーの操作方法

断続噴霧



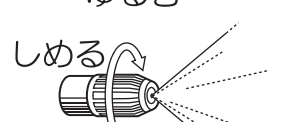
•レバーを押してスライドさせます。

連続噴霧

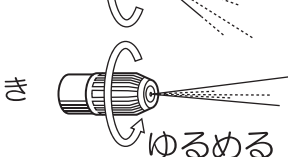


霧の調整方法

広範囲に散布するとき

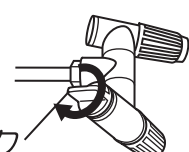


遠くへとばすとき



1頭口への切り替え方法

•コックを締めると1頭口として使用できます。



注意

液漏れの原因となりますので、コックを締め切った状態から1回転以上緩めないで下さい。

3.霧の勢いが弱くなれば再び加圧して下さい。

注意

○ノズルスタンドにノズルを立てる際、誤ってレバーに触れ誤噴霧しないようご注意下さい。
○余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないで下さい。各部品が傷み、製品寿命が短くなります。

⑦ 使用後はタンクの圧力を抜く。

•散布が終われば安全弁レバーを引き、「シュー」と音がなくなるまで圧力を抜いて下さい。

注意

○タンク内を加圧したまま放置しないで下さい。破裂や故障の原因となります。
○ポンプやキャップをはずす際、必ず先に圧力を抜いて下さい。けがの原因となります。



⑧ きれいに洗い、箱に入れて保管する。

•使用後はすぐにきれいな水でタンク内の薬液を洗い流して下さい。
•きれいな水をタンクに少量入れて数回蓄圧し、約60秒噴射してノズルやホース内に残った薬液も洗い流して下さい。
•保管時はタンクキャップを緩めておいて下さい。締め付けによる応力割れを防ぎます。

注意

○薬液が残るとノズル内で固まり、故障の原因となります。
○使用後は箱に入れるなど直射日光の当たらない場所で保管して下さい。直射日光は早く製品を劣化させ、加圧時破裂の原因となります。

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。弊社公式Webサイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

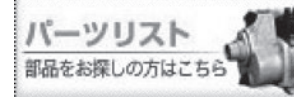
ご注文時のお願い 部品番号(7~9桁)または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・単価 <http://www.koshin-ltd.co.jp>にアクセス



■ パーツリスト

トップページの「パーツリスト」バナーをクリック



HS シリーズ用オプションパーツ(ノズル・パイプ)

HSシリーズは全機種ノズル・パイプに互換性があり、取り替えも容易です。

機種名	名称	ノズル長さ	JAN
PA-169	1段1頭口ノズル組	38cm	4971770-400634
PA-197	2段1頭口ノズル組	最長 113.5cm~収納時 63cm	4971770-401310
PA-170	2段2頭口ノズル組		4971770-402171
PA-171	4段2頭口ノズル組	最長 201cm~収納時 63cm	4971770-402980
PA-106	泡状除草ノズル組	38cm	4971770-101876
PA-107	粒状除草ノズル組		4971770-101883
PA-168	延長パイプ	37cm	4971770-402447

(ご注意)薬害を防ぐため、噴霧器本体は消毒と除草の兼用使用はしないでください。